

特別詩集「人ははかない交差点」  
【公開日】:04/9/22 【著者】:OIDUS・DAVID・DEKURON

【その壱 人】

「人」

人にとって一番大事なことって…何だろう

つよい人って…何だろう

僕は考えてみたんだ…。

人は独りで生きられる動物なのかな

違う。

じゃあ…大事なのは笑顔かな

…言い切れない。

しばらく考えた。

考えたら…困った。

やっとわかった…ら、別の何かがまた困る

でも…

素直な気持ち…言ってみるよ。

人にとって一番大事なものは…人を信じる心なんだろうね。

「あたりまえ」って…いっちゃいけない。

ほら…人って独りじゃ生きられない、その理由。

何のために…目があるんだい？

何のために…口があるんだい？

何のために…耳があるんだい？

何のために…鼻があるんだい？

何のために…舌があるんだい？

5つそろえばスーパーマン？

いや、違う。

人は猿から人になっていったんだ。  
猿だって人と同じような体をしている。だって先祖だもんね。  
でも、猿は、ただ生きているんじゃない。  
生きるために…鼻を使って何をするか？  
生きるために…口を使って何をするか？  
考えてきたから、他のみんなと一緒に、口を使って、鼻を使って…  
死ぬよりも生きている。  
なんで耳がついてたり…口がついてたりするんだろう…。  
やっぱり、みんなで支えあって生きるために…  
遠い昔からはぐくんできたものだから。  
ただ生きる…死なないために生きるなら、もっと体が丈夫に進化すると思う。  
生きるためだけに必要な物だけを残すはずだ。  
じゃあ、なんで人はこんなにもろいんだろう…  
…人が支えあって生きる動物だから。  
そのために耳があって…口があって…  
長い間に、言葉を生み出して…表情豊かな顔や口や…  
耳や舌や手を…  
得ることができたんだろう。  
つまり、人が人を信じられないなら、生きていけないんだ。  
もちろん、死なない生き方は難しい。  
生きたい生き方を…そのための暖かい心…  
強い人って…力がつよいとか、頭が切れるとか…  
でも、そういうのは人同士を比べたときにしか意味をもたない。  
大自然で、人は独りじゃ無力だ。  
今、これだけいろんな人が、いろんな知恵を使って「生きている」のは…  
支えあって生きることを生まれながらに知っているからなんだろう。  
当たり前なのは、考えなくても知ってるんだから…

当然だ。

知らないんじゃない。

忘れていただけなんだ。

生きるために生きる術・・・

知らないわけが無い。

ちょっと歯車が外れると・・・

未来の人にも確実に影響を与える。

もちろん、今よりも。

だから、なんで何万年も人が行き続けられてのかを考えてみる。

ただひとつ・・・

「信じること」

を子孫に伝えてきたから・・・

生きている。

もしこれより意味のあることがあるのなら・・・

知りたい。

でも・・・

生まれる前に知りたかった。

でも・・・

そのときには・・・

人は今と全く違う動物になっているんだろうね。

独りで生きられる動物に・・・

なっちゃうのかな。

いやだとかなんだとか・・・

そういうことは言いつこなした。

だって、僕らが伝えるんだから。

いやならそういう生き方を選んだっていいけど・・・

僕にいわせれば・・・

同じように未来の「人」に伝えたい。

ただひとつ…

信じることを…

### 【その貳 夢】

#### 「夢」

夢とは何か…

目をつぶると浮かび上がる…

パラダイス。

いやなことがあると…

真っ黒な空。

いや…その夢じゃない。

壮大な…

ロマン。

そう。

それだ。

夢は…

何のためにあるのか…

いや…

何のために…

もつのか…だろうか。

生きる目的といってもいいのか。

生きる喜びと…

言うのか。

でも…

じゃあ・・・  
終わったらどうだ。  
夢を果たすと・・・  
笑顔は消える。  
楽しかった。  
つらかった。  
悲しかった。  
・・・人はなんていろんなことを感じられるのだろう。  
でも・・・  
「かった。」んだ。  
もう・・・終わったんだ。  
こみ上げる・・・  
寂しさ。  
生きたことの・・・  
証明。  
夢は・・・  
終わっていいのか。  
悪いのか。  
・・・わからない。  
難しいから。  
でも・・・  
夢は生きる目的・・・  
もつと言うと・・・  
夢探しが生きる目的・・・。  
つまり・・・目的探しが人生の目的。  
・・・。  
わからなくなる。

なぜ生きるか・・・  
そう考えると、夢を果たすため・・・  
そう・・・言う。  
だったら・・・  
夢をもつなら・・・  
果てない夢をもつほうがいい。  
長生きするためじゃない。  
長生きするなら・・・  
もっと果てない夢を持って・・・  
もっと長生きする。  
でも・・・  
人はいつか死ぬ。  
それを知っているから・・・  
終わりのある・・・果てある・・・  
夢をもつんだ。  
だったら・・・  
夢を探す「生き方」も・・・  
ありなんじゃないのか。  
夢はもつんじゃない。  
探す物なんだ。  
でも・・・  
きっと途中で・・・  
いろんなことがある。  
悲しいこと。  
楽しいこと。  
つらいこと。  
・・・今度は終わらない。

終わらせない。

夢に終わりが無いから。

果てない夢だから。

もたないから……。

探すんだから……。

夢は

きっと……

生きることだ……

### 【その参 空】

「空」

不思議だ……。

目の前に無いことが無い……

空。

今まで雲が途切れているのを……

みたことは無い。

何処を見上げてても……

空がある。

雲がある。

じっと見つめると……

手が届く。

……雲に。

つかめないけど……

見れば見るほど……

いつもより近く感じる。

空。

上を見て歩くと・・・

地平線を見るより楽しい。

空が動くんだ。

どんなに背が高かったって・・・

・・・人だ。

限度はある。

でも・・・

どんな人でも・・・

見上げた先に・・・

空はある。

歩けば向こうからやってくる。

雲も・・・

手が届く。

もちろん・・・

さわれはしない。

だって・・・

人だから。

でも・・・

誰だって心が広くなるさ。

あの広い空を見たら。

コスモと比べたら・・・

粒ほども無い・・・

ちっぽけな人間。

60億足したって・・・

粒は粒だ。

でも・・・

手を伸ばせば・・・



上を見て歩けば・・・

きっと誰かも同じ事をしている。

だって・・・

地球は丸いんだ。

一周したら・・・

自分は二人いる。

最初の自分と・・・

二人目の自分。

雲に終わりは無いさ。

だって・・・

地球は丸いんだ。

終わりがあれば・・・

始まりもある。

でも・・・

終わりが始まるのが終わり・・・

始まりが終わるのが始まり・・・

不思議じゃあないか。

人と人が手をつなげば・・・

せいぜい2メートルの長さ。

でも・・・

世界のみんなで・・・

手を取り合ってみる。

そこにいる自分は・・・

始まりであり・・・

終わりでもある。

・・・始まりでもある。

そう。

人の輪は自分を人と溶け合わせる。

誰だって…

好きな位置にいられる。

先頭にたちたい…

なら、先頭にいられる。

終わりが好きなら…

そこにいればいい。

でも…

順番なんて無い。

始まりは自分で決めるから。

終わりは自分で決めるから。

でも…

順番なんてすごくちっぽけに感じられる。

あの空を見ればそう思うだろう。

誰かとつながっている。

一つ屋根の下。

何の不満をもつんだい？

空を見て…

無限を感じる…

【その参 終わりの始まり】

「空」

人にとって一番大事なことって…何だろう

信じることを…

## 【その参 できるときめた】

「空」

人にとって一番大事なことって…何だろう

信じることを…

## 【その四 無】

「無」

疲れたとき…

ベッドに入る。

もちろん…

布団もかける。

その後…

目をつぶってみるんだ。

何も無い。

リンク

[OIDUSタウントップ](#)